

国際森林年を震災復興に役立てるために（たたき台）

1. 考え方

東日本大震災によってお亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表し、御遺族と被害に遭われた方々に心からのお見舞いを申し上げます。

今回の地震と津波は、我が国に未曾有の被害をもたらし、被災地はもちろんのこと、日本の全ての人々に深刻な影響を及ぼしています。

この、まさに国難と呼べる状況に直面し、日本の明るい未来を築くべく、全ての国民が力を合わせて試練を克服することが求められています。

そこで、2011国際森林年の取組に当たっても、大地震からの復興に対する森林・林業・木材産業からの貢献を幅広く検討し、対応していく考えです。

2. 森林・林業・木材産業からの復興支援

- (1) 政府・国民一丸となった復興対策の一員として連携・協力します。
- (2) 多くの参加者のある行事では、地方自治体やNGOと連携し、義援金や支援物資を受け付けるブースを設けます。
- (3) 国際森林年を機会に森林に係る人的ネットワークを広げ、行事の中では様々な関係者による復興に関する告知、活動宣言、応援メッセージの紹介を含めます。
- (4) 国産材を使った復興住宅の整備など、日本の森を活かした取組とそのメリットを積極的に広報し、取組への理解と広がりを目指します。
- (5) 防災のための海岸林の植樹など、将来に残る国際森林年記念事業を計画します。